

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

社会活動家育成 PG 協業プロジェクト

認定NPO法人「プラチナギルドの会」

① 団体概要

認定特定非営利活動法人

「プラチナ・ギルドの会」

創立；2012年6月



シニアが動く。日本が変わる。見つけてください、「次の自分」を。

「プラチナギルドの会」理念

「会社の仕事」から
「人生の仕事」へ

—見つけよう次の自分を!—

「プラチナギルドの会」行動原則



経験

STEP 1

会員の
自己実現

第二の人生の豊かな
自己実現の場

知恵

STEP 2

社会貢献

社会起業家や、既存の
NPO、地域再生の支援

人脈

STEP 3

新しい
社会創造

会員が自ら社会的問題の
Change Makerに!

毎月の定例会の他に下記の事業を行っています

アワード事業:シニアがビジネス等で培ってきた**スキルや経験、人脈**等の財産をより良い社会の実現のために活かして欲しいと待ち望んでいます。そこで、多方面の分野で素晴らしい**社会貢献事業**をされている方々を毎年顕彰させていただきます。

アカデミー事業:シニア世代が自分の将来像を見つめ、社会貢献活動及び転職や企業などで社会デビューしやすい環境を整備するためにセミナーを開催し、座学のみならず活動家の実体験発表、現場訪問研修等を通して、シニアの**地域貢献意識を育みます**。

提言(アドボカシー)事業:当会員意識をもとに中間支援団体として、社会課題解決に向けての具体的な活動をされる**団体と連携して**、その活動意義等を**広く発信**していきます。

シニアが動く 日本が変わる

「会社の仕事」から「人生の仕事」への理念もと、セカンドライフに於いて
自己実現、社会活動支援、担い手となることは、
社会のみならず個々の人生の価値として尊いものとして他ならない…

しかし
現実には！

迎える人生100年時代、高齢化社会の中で、
どれだけの人が
健康や暮らしに不安を抱えながら、
前向きに人生を送れるだろうか？

と、誰もが思うのですが…

その不安を払しょくし、前向きになるための **メソッド** があります

人生百年時代を見すえて、生き方を考える メソッド



自分を見つめ直す～4つのポイント

- 1) 迎える人生百年時代
- 2) 内的変容を促す
- 3) 明確なテーマ
- 4) 今が転機と知る



答えへと導く、気づきやヒント～9つのアイテム

- 1) 幸せは心の持ち方
- 2) わたしの4つの習慣
- 3) 感情をコントロール
- 4) 自分を好きになる～自己肯定感
- 5) 依存心や劣等感～承認欲求
- 6) 拘りと偏見～潜在意識と個人的無意識、集合的無意識
- 7) 自分らしい～個性
- 8) 健全な人間関係～共生
- 9) 自分らしい自分で生きる～自己実現



②事業の概要

• 概要

「人生百年時代を見すえて、生き方を考える メソッド」を用いて、シニアやセカンドライフに向かう現役世代に対し、社会貢献を促す活動を行う、「この指とまれ」プロジェクト参加団体と下記の項目等の協業を模索、実行します。

1. セミナー開催
2. マンガ・アニメ等にツール化
3. 自治体と連携した、シニア及びシニアに向けた社会起業家育成プログラムの作成、実践
4. その他

• 実施場所

Webも含め、適宜参加企業と決める。

• コロナ対策

蔓延防止等の状況を鑑み、対応をとる。



2022.4. 17 笠間市に於いてセミナー開催

③事業の期待する効果

人生100年時代を迎え、シニアの持つ**経験・知恵・人脈**もって、社会貢献

等の活動を行うことによって、個人の
自己実現、コミュニティ・地域の活性、
布いては日本に於ける共生社会実現
の一助となる。



④連携を期待するリソース

- ・ PGは中間支援団体であることから、同じ目的をもって、地域等で具体的活動をされる団体・企業と連携を図ることによって、シナジーを生むと考えます。これはPGの提言(アドボカシー)事業にあたります。
- ・ 期待するリソースは、連携いただける団体・企業に於ける視野に立ったポリシー(政策・方針)とフィールド(専門分野)やノウハウ等、全てです。
- ・ 連携することで、多様で多方面への発信が可能となります。

⑤事業のスケジュール

5、6月 連携していただける団体・企業との意見交換。

7、8月 個別、もしくは複数での活動方針、計画策定。

以降 事業よによって、随時実施する。

⑥最後に一言

ヤング世代やミドル世代は人口減少の続く日本で、子育てや

日本の経済活動の中心的な役割を担っています。

多くの人を支え合う共生社会に於いて、せめて、支えてもらう前に

元気なうちに支える側としてわれわれシニア世代が社会課題解決

のための活動を少しでも担いたいと思います。

ありがとうございました